

各種工場、倉庫、耐薬品性が求められる床に適したアクリルエポキシ樹脂系床塗料です。コンクリートやモルタル面に塗布するだけですぐれた防塵性、耐磨耗性、耐薬品性を発揮します。しかも、浸透タイプですのでコンクリート内部に浸透し、しっかり密着することで剥がれが起こりにくい床材です。また、すぐれた接着力があり、湿潤面・油潤面、既設の硬質床などにそのまま施工することが可能で、改修工事にも適しています。

Mercury Rock

浸透性耐久仕上材
マーキュリーロック ハードカラー



COLOR (標準色)



グリーン



ライトグリーン



ブラウン



グレー



クリーム



ベージュ



ラインカラー
(ホワイト)

すぐれた耐薬品性と耐久性を併せ持つ
浸透タイプの床仕上材です

■下地への接着性にすぐれる浸透タイプです。

マーキュリーロックハードカラーは塗布するだけで表面に硬質塗膜を形成。さらに、下地コンクリートに浸透し接着、床の剥がれが起きにくい床材です。

■簡単な施工で美しい床に仕上がります。

施工方法は、床を洗浄し、ローラー刷毛やスポンジバーで2回塗布するだけの簡単な施工です。美装性にすぐれ、6色のカラーからイメージに合わせてお選びいただけます。

■床材としての機能性にすぐれています。

防塵性、耐磨耗性はもちろん、樹脂床ならではの耐薬品性にすぐれ、各種工場、倉庫などでその真価を発揮します。

■油面・湿潤面にも強力に接着します。

油が染み込んだ床や湿潤床、無機系硬質床に強力に接着します。既設床を取り除くことなく施工が可能ですので、床の改修にも最適です。

■室内環境に配慮した安全性の高い床材です。

室内環境に配慮した床材ですので、安心してご使用いただけます。
ホルムアルデヒド放散等級 F★★★★申請中

主な用途

- 自動車関連工場・機械加工工場・精密機械工場・光学機器工場など
- 各種倉庫・学校の通路や理科室・研究室・事務所等の床

※印刷のため多少色が異なります。

■物理特性

試験項目	試験方法	試験値
密着性	基盤目テスト	25/25
接着強度	建研式	20.0kg/cm ²
耐磨耗性	テーパー式磨耗輪CS-10 250g・500回転	0.03g
耐光性	フェドメーター 1,500時間	異常なし
天然曝露	一年半	異常なし

■コンクリート面の接着試験

試験条件	接着力 (kg/cm ²)	破断状態
乾燥面	19	A
湿潤面 水分 8%+160g/cm ²	19	A
サラダオイル 90g/cm ²	15	A
二号絶縁油 160g/cm ²	23	A

A:コンクリートの破断

■鉛筆硬度

経過日数	25°C	15°C
1日後	HB	4B
3日後	H	B
7日後	2H	F
14日後	2H	H

■耐薬品性

試験物質	試験方法	試験結果
塩酸	10% 1ヶ月浸漬	異常なし
硫酸	20% 1ヶ月浸漬	異常なし
硝酸	5% 1ヶ月浸漬	僅かに浸食
酢酸	5% 1ヶ月浸漬	僅かに浸食
苛性ソーダ	10% 1ヶ月浸漬	異常なし
塩水	3% 塩水 1,000時間噴霧	異常なし
重油	3% 1週間浸漬	異常なし
耐凍結融解性	凍結融解して性能劣化をみる	異常なし

<荷姿>

種別	主材	硬化剤	合計
床用	16kg	2kg	18kg / セット
ライン用	8kg	1kg	9kg / セット

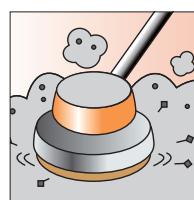
<施工条件>

- 新設コンクリートは1ヶ月以上養生してください。
- コンクリート面は、新設・既設ともにボリッシャーサンダー等によるサンディングを実施してください。
- 施工温度は10°C以上で行ってください。硬化不良の原因になります。
- コンクリート中に遊水がある場合は、遊水を逃がしてください。塗膜膨れの原因になります。
- 古いコンクリートでポーラスな場合は、平滑に仕上がりない場合がありますのでご注意ください。
- 涌き水・油等が滲みでる場所には施工できません。
- 下地床面にワックス、あるいはシリコン等の撥水剤が施工されている場合は密着いたしません。
- 下地床面に旧塗膜がある場合は、その塗膜が油性アクリル系塗料の場合には密着いたしません。

(旧塗膜が不明の場合は、重ね塗りのテストを行って確かめてください。)

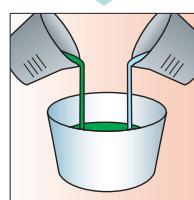
※実験では湿潤面、油潤面にも十分接着しますが、現場では環境条件が異なりますので、下地の水・油はできるかぎり除去し、現場テストを行ったうえで施工してください。

施工方法



1 清掃・レイタス除去

ゴミ、レイタスは除去してください。水や油はできるだけ除去してください。



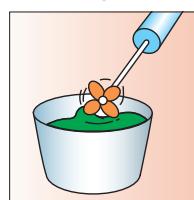
2 材料の混合

材料の缶は開ける前に良く振ってご使用ください。配合は下記のとおり、計りを用い正確に計量してください。配合容器は丸缶を用意してください。

※角缶は隅に混合不良が残りますので使用しないでください。

配合比 (重量比)	主剤	硬化剤
8	1	

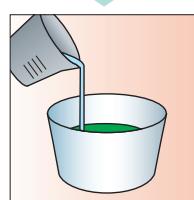
※湿潤面が酷い場合は表面の付着水をウエス等で除去してください。



3 材料の攪拌

電動ミキサー等を用い3~5分良く混合してください。攪拌後は発生した泡消しと、熟成のため必ず5~10分静置してください使用してください。

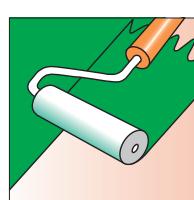
※混合後の使用可能時間は、25°Cで5時間が目安です。



4 希釀

希釀する場合は専用希釀液をご使用ください。希釀は10~15%の希釀率で行ってください。

※希釀率は下地の状態により異なります。



5 材料の塗布

塗布はローラーバケやスポンジバーを用い必ず2回塗りしてください。

※1回塗りの場合下地が見える場合があります。

●塗り重ね時間

気温	塗り重ね時間
10~15°C	6~7時間
15~20°C	4~6時間
20°C~盛夏気温	2~3時間

●材料塗布量

1回塗り(下塗り)	100~150g / m ²
2回塗り(上塗り)	100~150g / m ²
合計	200~300g / m ²



※本製品は有機溶剤を含んでいます。各容器の注意事項ならびに製品安全データシート (MSDS) をご覧のうえ、安全な条件のもと管理・施工を行ってください。

※本カタログの試験データは実験に基づくデータであり、保証値ではありません。

※製品改良のため予告なく仕様および性能等を変更する場合がありますので、予めご了承ください。